

## 8 農民服飾に関する研究（第1報）

### —江戸時代における禁令—

和洋女子大 遠藤 武  
鷹司 綸子

1 第二次世界大戦を契機として日本の服飾界は和服から洋服へと大きな転回が行なわれている。それにもかかわらず従来日本服飾史を繙いてみると農民服飾に関する研究はほとんど行なわれず、その種類も形態さえもが如何あるのかさえわからない現況である。そこで昭和初頭以来明治服飾実体調査の一環として農民服飾研究を行い江戸時代以降どのような変化を辿っていったかを全国的に観察してみた。

2 服飾の研究は文献、絵画、遺物と民俗学的ききとり調査を行い、江戸時代の研究では幕府なり大名なりが農民の衣生活に関してどの様な取締りを行ったか、また文献にあらわれた服物の推移をも絵画と併考してみた。

3 四民の中で武士に次ぐ階級でありなから町人よりも衣生活のまずしかったのは農民で、年貢皆済のために服飾は自給自足をよぎなくされたか、それも世相の混乱と生活向上につれて幕末になると華美な服飾品をもつものがあらわれはじめています。